

全郷芸では、
会員を募集しております。

団体会員

郷土芸能の保存会や保存団体

●入会金 5,000 円 ●年会費 10,000 円

個人会員

郷土芸能に興味をお持ちの個人

●入会金 5,000 円 ●年会費 10,000 円

賛助会員

当協会の主旨に賛同される個人または団体等

●入会金 5,000 円 ●年会費一口 20,000 円

ユース会員

郷土芸能に興味をお持ちの 25 歳以下の個人

●年会費 5,000 円

会員の方には様々なサービス
をご提供いたします。

- 1 会報の送付（年4回）
- 2 各種事業（国内外の芸能公演等）への推薦、出演依頼等
- 3 郷土芸能公演、研修会、シンポジウム、各種研究会及び交流会、鑑賞会等の案内
- 4 各種助成申請や公演開催等、様々なご相談にお答えします。

◎申し込み方法は、入会申込書に必要事項をご記入の上、入会金、年会費を添えて、協会事務局までお送りください。

◎（公社）全日本郷土芸能協会の活動趣旨にご賛同頂ける企業等、皆様のご寄付を付けております。ご理解ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

会報のみの購読

- 年4回発行の当協会の会報購読 年間 2,000 円（送料込）
- 申込方法：事務局に電話及びメールにてお申込ください。



公益社団法人 全日本郷土芸能協会

JAPAN FOLK PERFORMING ARTS ASSOCIATION

〒106-0032 東京都港区六本木 4-3-6 三河台ハイツ 206
4-3-6-206, ROPPONGI, MINATO-KU, TOKYO 106-0032, JAPAN
Tel 03-6434-9434 Fax 03-6434-9435

URL <http://www.jfpaa.jp/> E-mail info@jfpaa.jp

●寄付金口座：三井住友銀行 赤坂支店 普通 813918
口座名義：公益社団法人全日本郷土芸能協会寄付金口

公益社団法人

全日本郷土芸能協会

公益社団法人 全日本郷土芸能協会

（主務官庁・内閣府）

公益社団法人全日本郷土芸能協会（略称・全郷芸）は、郷土芸能の保存団体および郷土芸能に関心を持つ個人を会員とした、その分野でわが国唯一の全国組織の団体です。

全郷芸は、日本各地に伝承されている郷土芸能の振興と育成を図り、その発展に寄与することを目的として、昭和四八年（一九七三年）六月に任意団体として創立し、平成七年（一九九五年）五月に社団法人の設立認可を受け、平成二四年（二〇一二年）四月に公益社団法人の認定を受けました。

日本全国各地に伝えられている様々な郷土芸能は我々の誇るべき文化財であり、地域の財産です。今後も未来に向けて全国の郷土芸能の振興と発展に力を尽くして参ります。

これまでの主な事業

(2015年4月現在)

自主事業

会報発行

1974年1月第1号発行～1995年1月第94号発行。
社団法人設立後・1995年7月創刊号発行～2015年1月第78号発行(季刊)

まつり研究会

民俗芸能の現地公開(お祭り)の際に、会員や一般参加者と現地に赴き見学、体験や、当事者・研究者等と懇談会(フォーラム)を行う。1976年4月第1回まつり研究会「岐阜県古川町の起こし太鼓」開催。以降30回開催。

郷土芸能に関する発表会の開催

2000年6月、設立5周年記念公演「こころ、伝えあおう～日本の郷土芸能～」を東京日本橋公会堂で開催。2005年6月、設立10周年記念公演「日本の郷土芸能」を日本青年館で開催。2005年以降「伝統人形公演」を八王子車人形古柳座との共催で開催

地域社会における民俗芸能の保存振興を図ることを目的として、様々な角度からその発展に寄与する自主事業を行っております。

(2005～2009)。2012年7月「明治天皇百年祭～郷土芸能奉納」。2014年4月「昭憲皇太后百年祭～郷土芸能奉納」。

指導者研修会

2001年3月に民俗芸能指導者研修会「21世紀へつなぐ日本の民俗芸能」を、東京代々木のオリンピック記念青少年総合センターにて開催。2004年7月「全国子ども民俗芸能大会」との併催で日本青年館中ホールにおいて「第1回伝統文化研修セミナー」を開催。以降毎年開催し、2012年8月「第9回伝統文化研修セミナー」を開催。2013年より「第1回伝統文化継承フォーラム」を開催。2014年8月第2回を開催。

映像資料の活用事業

1995年1月より「ビデオで見る民俗芸能」を開催。2004年10月東京芸術劇場会議室において第70回記念特別企画「祝島の神舞」を開催。延べ81回。2007年6月～11月にかけて12回の「民俗芸能講座シリーズ(1)～世界遺産時代の村の踊り考」を開催。2011年7月映像資料を活用したトークライブ「郷土芸能ストリーム」を開催しネット配信を行う。以後毎月第2水曜日に開催。2012年3月第8回を開催。2012年9月より奇数月の第2水曜日に開催。2015年3月第27回を開催。

出版物の発行

2003年3月「民俗芸能で広がる子どもの世界」全郷芸編集・発行
2006年7月「日本の祭り文化事典」全郷芸編集・東京書籍発行

東日本大震災・郷土芸能復興支援プロジェクト

2011年3月11日の東日本大震災で被災した岩手、宮城、福島3県を拠点とする郷土芸能の復興を支援する事業。郷土芸能間の交流と次世代継承事業に対する支援金の募集と配賦。活動支援プログラムは第6回、次世代継承プログラムは第3回まで実施。「無形文化遺産情報ネットワーク」インターネットにて被災した郷土芸能等の情報発信。

マレの会

全郷芸会員の若者を中心に結成。「マレビト」のように各地の芸能や祭りを訪れ、人々や風土と交流をし、地域の魅力の再発見と継続性のある企画を提案している。岩手県の神楽と食の旅(2011)、岐阜県の地芝居と芝居小屋の旅(2012)、韓国の民俗芸能を習う旅(2013)、福岡県のアートフェスティバルとの交流(2014)、太鼓職人見学会等を開催。

全国地芝居サミット

地芝居保存団体の連携と交流を目的として、地芝居の公開と共通する諸問題を取り上げるシンポジウムやワークショップを行う。1990年10月第1回全国地芝居サミットを長野県大鹿村で開催。以降毎年、各開催地の振興もかねて当該自治体等との共催で行い、2014年11月第24回サミットを新潟県魚沼市で開催。全郷芸会員の地芝居団体で「全国地芝居連絡協議会」を結成。現在56団体が加盟。1999年8月に第1回、2001年2月に第2回地芝居ワークショップを開催。



全国獅子舞フェスティバル

郷土芸能のなかで、全国に亘って数多く分布して人々に親しまれている「獅子舞」をとりあげ、全国各地を巡って当該自治体等との共催で開催している。獅子舞の保存振興を目的に開催するもので、全国各地から招聘したその土地の歴史と風土に育まれた様々な形態の獅子舞と開催地元の獅子舞とが共演する。1998年10月に第1回全国獅子舞フェスティバルを石川県鶴来町(現・白山市)で開催。以後、毎年1回開催し、2012年11月に第15回大会を静岡県掛川市において開催。



全国子ども民俗芸能大会

全国各地に伝わる民俗芸能の中から子どもが関わる芸能を全国より招聘し、民俗芸能の披露とワークショップ等を行う。1999年9月、東京都児童会館と共催で第1回子ども民俗芸能大会を開催。以降毎年開催。2002年第4回大会から全国の教育委員会より出演団体の推薦団体を募り実施し、「全国子ども民俗芸能大会」とした。また、2004年7月の第6回大会より会場を日本青年館に移し、主催事業となる。2014年8月に第16回大会を開催。



無形の文化遺産である祭りや芸能などの集大成(1023件)

(社)全日本郷土芸能協会編

「日本の祭り文化事典」発売中!!

定価 25,000円(税別) 会員割引あり

委託事業・国際交流事業

文化庁、自治体等の委託を受け、海外の芸能団体の招聘や日本の民俗芸能の海外派遣等、様々な事業を行っております。

- 文化庁、国際交流基金等民俗芸能の海外派遣事業(1980～)延べ31カ国42都市
- 文化庁芸術祭主催公演「日本民謡まつり・アジア太平洋うたと踊りの祭典」(1977～1994)
- つくば博「ザ・からくり」、「日本のまつり」(1985)
- 文化庁主催「アジア民族芸能祭」(1985)
- 埼玉県主催「国民文化祭さいたま89～全国祭りばやし～」(1989)
- 国際花と緑の博覧会「日本の祭り」企画(1990)
- 石垣市と共催「祭りイン八重山」(1990～1992)
- 国立民族学博物館研究公演(1991～1997)
- ジャスコ主催「地域伝統芸能公演」(1993)
- 福井県主催「ふくい国際芸術祭」(1994、1997)
- まつり博・三重94「三重のまつり」(1994)
- 文化庁主催「国際民俗芸能フェスティバル」(1996～2010)
- JR秋田主催「世界の鬼フェスティバル」(1997)
- 大阪府・堺市主催「世界民族芸能祭ワッショイ2000」ブレイベント(1999)、「世界民族芸能祭ワッショイ2000」(2000)
- 文化庁事業「地域の伝統的な芸能等の活用の在り方に関する調査研究」(2000、2002)
- オリンピック記念青少年総合センター主催「邦楽・民俗芸能の祭典」(2001)、「子ども民俗芸能ワークショップ」(2002)
- 神奈川県主催「夏に遊ぶ子ども神楽とお囃子」(2001)、「日韓伝統芸能シリーズ公演」(2002)「かながわの地芝居」(2002～2015)、「夏休み子ども民俗芸能フェスティバル」(2003～2004)
- 柏川村主催「国民文化祭ぐんま2001獅子舞フェスティバル」(2001)
- 「第43、44、45、47回関東ブロック民俗芸能大会」千葉、静岡、東京、神奈川県各教育委員会主催(2001～2003、2005)
- 文化庁主催、全郷芸共催「舞踊劇・ラマヤーナ」(2003)
- 堺市主催「アジア民族芸能祭」(2003)
- 文化庁主催「世界伝統芸能フェスティバル」(2004)
- 宮内庁「日本の民俗芸能」(2004、2014)
- 福井県主催「国民文化祭ふくい2005・国際民俗芸能祭」(2005)
- 文化庁事業「日韓公開講座」(2005)
- 文化庁舞台芸術国際フェスティバル・ブレイベント「韓国伝統芸術舞台」(2005)
- 文化庁事業「文化財サポーター制度構築のための調査研究」(2008)
- 堺市主催「生きつづける文化～無形文化遺産の伝承と発展」シンポジウムにおけるベトナム民俗芸能団公演(2009)
- 文化庁事業「変容の危機にある無形の民俗文化財の記録作成の推進事業」(2009～2010、2013～2014)
- 神奈川県教育委員会主催「かながわ民俗芸能大会」(2009)
- 文化庁事業「地域伝統文化総合活性化事業」(2010～2012)
- 日中国交正常化40周年記念事業「スーパー夏祭り・イン・北京」(2012)